トウニン末

生薬の性状の項を次のように改める.

生薬の性状　本品は帯赤淡褐色～淡褐色を呈し，ほとんどにおいがなく，味はわずかに苦く，油様である．

本品を鏡検〈*5.01*〉するとき，黄褐色の内容物を含む多角性の楕円形～卵形で長径 50～80μm の細胞からなる種皮外面表皮片，黄褐色の帽子状～卵状の石細胞を認める．石細胞は表皮の変形したもので，径 50～80μm，高さ 70～80μm，頂部の細胞壁は厚さ 12～25μm，底部は厚さ 4μm で顕著な多数の壁孔が認められる．黄褐色の内容物を含む不整のやや長い多角形で径 15～30μm の細胞からなる種皮内面表皮片，アリューロン粒及び脂肪油を含む子葉及び胚乳の組織片を認める．アリューロン粒はほぼ球形で径 5～10μm である．